

# 白浜町 議会だより

No.60

令和3年(2021)5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



(桜咲く平草原公園)

## CONTENTS

■ 令和3年第1回定例会	P. 2～4
■ 令和3年度予算について	P. 5～7
■ 委員会活動	P. 8～9
■ 一般質問	P. 10～12
■ 町議会・議長の主な動き	P. 13
■ 次回定例会日程など	背表紙

# ▷▷ 令和3年第1回定例会 (3月2日～3月24日)

## 第1日

### 3月2日【開会、町長挨拶、提案理由の説明】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（専決処分の承認2件、専決処分の報告1件、土地の貸付1件、条例改正4件、令和3年度当初予算10件、補正予算3件、その他2件）
- ・予算審査特別委員会設置

## 第2・3日

### 3月11日【一般質問】

- ・楠本議員、溝口議員、長野議員

### 3月12日【一般質問、提案理由の説明】

- ・正木議員、水上議員、廣畑議員
  - ・追加議案の提案理由説明（工事請負契約2件）
- 《P 10～P 12に内容記載》

## 第4日

### 3月24日【提案理由の説明、議案審議、閉会】

- ・追加議案の提案理由説明（人事案件3件）
- ・議案審議（専決処分の承認2件、専決処分の報告1件、土地の貸付1件、条例改正4件、令和3年度当初予算10件、補正予算3件、工事請負契約2件、その他2件）
- ・委員会発議案件（条例改正2件、閉会中の継続調査申出1件、閉会中の継続審査申出1件）

## □ 条例改正

○白浜町各種基金条例の一部を改正する条例について

学校施設の財産処分を行うにあたり、新たに学校教育施設整備基金の設置が必要となるため改正を行う

○白浜町国民健康保険条例等の一部を改正する条例について

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正を行う

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について

白浜町第8期介護保険事業計画の策定に伴い保険料率等を改定するとともに、介護保険法施行令等の一部改正に伴い、関係規定の改正を行う

○白浜町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

政務活動費の使途の適正化及び透明化を図るため、交付方法を一括精算による後払いに改める  
(P 8に委員会審査報告記載)

○白浜町議会議員の定数条例の一部を改正する条例について

本町における現状や課題、議会機能のあり方等を総合的に勘案した結果、議員定数を14人から12人に改める  
(P 9に委員会審査報告記載)

## □ 専決処分の承認

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第10号)

・既定予算への補正額

5,023万2千円

・補正後の歳入歳出予算総額

160億8,203万2千円

補正内容は次のとおり

### 【衛生費】

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

5,023万2千円

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの円滑な接種を実施するための体制確保を図り、新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る





□補正予算

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第11号)

・既定予算への補正額

8, 560万円

・補正後の歳入歳出予算総額

161億6, 763万2千円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・ふるさと白浜応援寄附事業

1, 825万円

・寄附金の増加に伴い増額

・生活交通路線バス維持費補助金

1, 151万円

・企業誘致促進助成金

556万円

【民生費】

・障害者自立支援給付費等事業

160万円

・児童手当

▲3, 545万円

【衛生費】

・公立紀南病院組合負担金

503万円

・インフルエンザ予防接種委託事業

▲1, 500万円

【農林水産業費】

・有害鳥獣駆除奨励金補助金

320万円

・県営ため池等整備事業

2, 400万円

【土木費】

・町道藤島細野線改良事業

3, 000万円

・県営事業負担金

1, 130万円

【教育費】

・学習系ネットワーク環境整備事業

1, 282万円

・各学校の回線を集約してインターネット接続している方法を、各学校から直接接続する方式に改め、学習系ネットワークの円滑化を図る

・学校保健特別対策事業

1, 080万円

・各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を行う

・学校給食費無償化事業

▲771万円

○令和2年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

6, 000万円

・補正後の歳入歳出予算総額

7億4, 497万8千円

○令和2年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)

・資本的収入予算への補正額

▲6, 000万円

・補正後の収入予算総額

1億4, 300万円

・資本的支出予算への補正額

▲5, 463万3千円

・補正後の支出予算総額

5億9, 534万7千円

□工事請負契約の締結

○白浜町中地区津波避難ビル建設工事

【契約金額】

9, 669万円

【契約相手】

白浜町3777番地の7

株式会社稗田工務店

代表取締役 稗田 敦

○白浜町日置地区津波避難ビル建設工事

【契約金額】

8, 888万円

【契約相手】

白浜町栄1049番地

SUN頼・S 平阪 恵智子

ご冥福をお祈りします

丸本安高議員が去る1月22日、ご逝去されました。享年70歳。

丸本議員は、平成16年7月に日置川町議会議員として初当選し、平成18年の合併を経て5期16年余り議員としてご活躍されました。

第1回定例会の冒頭に全議員が黙祷をし、辻成紀議員が追悼の言葉を捧げました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りします。



# ▷▷ 令和3年度予算

## 総額 202億 8698万 3千円

3月24日に開催した定例会4日目において、正木予算審査特別委員長から審査報告を行い、採決の結果、令和3年度当初予算のすべてを原案のとおり可決しました。

# ▷▷ 討論のあった議案

議案第6号「介護保険条例の一部を改正する条例について」、発委第4号「白浜町議会議員の定数条例の一部を改正する条例について」の2議案では、質疑の後、廣畑議員が反対討論を行いました。起立採決の結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。採決の結果、討論の内容については次のとおりです。

賛成○ 反対×	採決結果	堀匠	楠本隆典	廣畑敏雄	西尾智朗	正木秀男	南勝弥	小森一典	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
議案第6号 「介護保険条例の一部を改正する条例について」	可決	○	○	×	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第4号 「白浜町議会議員の定数条例の一部を改正する条例について」	可決	○	○	×	/	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(西尾智朗)は採決に加わりません。

### \*議案第6号 廣畑議員 反対討論(要旨)

介護保険料の基準額の年額が4月以降3,900円の増額をはじめとする各段階保険料増額は、年収、年金収入の減となり、またコロナ禍のなか、さらに追い打ちをかけることになる。それよりも公費負担の割合の引き上げ、特に、国の持ち分の引き上げを求めたい。以上の理由からこの議案に反対する。

反対

### \*発委第4号 廣畑議員 反対討論(要旨)

議員定数については、民主主義の根本問題であり、地方議会の根幹にかかわる重要な問題である。議会はそれぞれの地域の住民を代表する機能、そして自治立法に基づいた立法機能、また、執行機関に対する批判、監視機能の3つの基本的機能を有しており、議員定数はこの基本的機能を保障する観点から、多面的、総合的に検討されなければならないと考える。様々な住民の意見、声を反映するためにも、この定数削減については反対である。

反対

## ▷▷ 予算審査特別委員会

令和3年度一般会計予算および特別会計予算等9件を審査するため、3月15日から17日までの3日間で、令和3年予算審査特別委員会を開催しました。

審査の過程では、「一般会計予算」について修正動議、「介護保険特別会計予算」について反対討論がありました。付託された10件は、すべて原案のとおり可決すべきもの、承認すべきものと決しました。

### 》》》 当初予算（一般会計）の修正案を否決

議案第11号「令和3年度一般会計予算議定について」、南委員、廣畑委員から、農林水産業費の水産業費、水産業振興費のうち、駐車場管理等業務委託料400万円を減額、また、漁港管理費のうち、漁港管理委託料900万円を減額する修正案が提出されました。

提出者の南委員から提案理由の説明を受け、質疑、討論を行った後、起立採決の結果、修正案は賛成少数により、否決となりました。

提案説明および討論の内容、採決の結果は、次のとおりです。

賛成○ 反対×	採決結果	正木秀男	堀匠	楠本隆典	廣畑敏雄	南勝弥	小森一典	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
修正案	否決	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
原案	可決すべきもの	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

※委員長（正木秀男）は採決には加わりませんが、可否同数の場合委員長が「裁決」を行います。

※議長（西尾智朗）は委員ではありません。

#### \*議案第11号 南委員 修正案提案説明（要旨）

- ① 駐車場管理等業務委託料400万円を削除する案である。湯崎浜広場駐車場開業時の2千万円以上の収益があるとの説明があったが、初年度売上はその10分の1にも満たなかった。その後も売上が伸びず、毎年売上額以上の経費を出している。加えて、営利を目的とする会社に無料で駐車場を貸している。これでは売上が伸びるはずがない。また、令和元年7月からの駐車料金を値上げにより、年間1千万以上の売上げが予想されるところだったが、売上げはあまり変わっていない。収入が予測どおりでないのに、それ以上の支出があれば苦しいのは当然である。住民の常識に合った支出のあり方を考え、この委託料は削除すべきである。
- ② 漁港管理委託料900万円を削除する案である。以前、町は係船使用料収入の9割を係船管理委託料として漁協に支払っていた。県下の市町村のほとんどが5割である中、町は突出して支払っていた。現在は、漁港管理委託料として係船使用料収入の9割を支払っているが、綱不知から樺までの各漁港に限っており、日置は含まれておらず、各漁港への委託料の配分もない。また、どのように漁港管理委託料が使われているのか明確な説明もない。公金は正しく使い、用途は分かりやすく示す必要がある。以上のことから、この委託料は削除すべきである。

## 》》》 討論のあった議案

議案第14号「令和3年度白浜町介護保険特別会計予算議定について」、質疑の後、廣畑委員が反対討論を行いました。起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものとなりました。討論の内容、採決の結果は次のとおりです。

賛成○ 反対×	採決結果	正木秀男	堀匠	楠本隆典	廣畑敏雄	南勝弥	小森一典	辻成紀	松田剛治	溝口耕太郎	長野莊一	堅田府利	水上久美子
議案第14号 「令和3年度白浜町介護保険特別会計予算議定について」	可決すべきもの		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※委員長（正木秀男）は採決には加わりませんが、可否同数の場合委員長が「裁決」を行います。  
 ※議長（西尾智朗）は委員ではありません。

### \*議案第14号 廣畑委員 反対討論（要旨）

このコロナ対策の中、ケア労働の大切さが言われている。介護労働者の大幅な処遇改善や、介護保険の国庫負担割合の引き上げなど、介護保険制度が安心して利用できる制度になる。このようなことを求めて反対討論とする。



Pick up!

## 新型コロナウイルス感染症

### 予防接種事業

### ワクチン接種のスタートとして、白浜会館で集団接種を実施

**問** 白浜会館での集団接種をまず考えているということであるが、地域のかかりつけ医で接種できるようにすれば、町民の補助になるのでは。

**答** ワクチン供給量も限られており、取り扱いも難しいため、効率性の観点からまずは集団接種を考えている。今後はワクチンの供給量を見ながら、町内のかかりつけ医での対応も考えていきたい。

**問** 集団接種で早くワクチンを打ちたいと考えている方の中にも、移動手段がない方がいると考えるが、どう対応するのか。

**答** 意向調査の中でもそのような声が届いている。集団接種会場は富田や日置川地域での開設も検討しており、バスなどでの移動ができないか考えている。



Pick up!

Pick up!



**事業継続推進補助金  
新型コロナウイルス感染拡大防止等の取組みを補助**

**問** 令和2年度も同様の補助金があったが、今年度も内容の変更はないのか。

**答** 令和2年度で感染防止対策の実施が進んだことにより、経常的に必要となるマスク、消毒液の購入費を補助対象経費に含める予定である。



**図書館システム導入事業  
蔵書の電子化で管理・検索が容易に**

**問** このシステムはどのような用途に利用されるのか。

**答** 図書館の蔵書をデータ化し、貸出し、返却、予約、資料の検索等の業務をデータ化する。導入により、より正確な書誌情報の提供が可能となり、求める書誌や資料を迅速に検索できる。本館、各分室それぞれに検索用の端末を設置する予定である。

Pick up!

**高齢者自動車運転免許証  
自主返納支援補助金**



**自主返納者に対し、  
公共交通機関の利用  
助成等を行う。**

**問** 65歳以上の高齢者が8千人以上いる中で対象見込みは100人ということであるが、対象は今年度新規に返納された方に限るのか。過去に返納された方は対象にならないのか。

**答** 新規事業ということで、対象者の範囲など制度設計はこれからであるが、新規返納者に対し、タクシー初乗り料金580円分の券12枚綴りの無料券の配布を考えており、過去に返納された方については対象としない予定である。

**問** 自主返納者本人への補助ということであるが、家族や隣近所の方が自主返納し交通手段のない方を乗せていく等の手助けをすることが多くある。その方々に対する補助も考えていただきたいが町の考えはどうか。

**答** 今回はあくまでも交通安全対策の1つとして自主返納を促進する事業であり、ご質問の件については今後の福祉施策として総務課、民生課で今後に向けた協議を行っていききたい。

## ▶▶ 議員定数等検討特別委員会

【委員長】楠本 隆典 【副委員長】小森 一典

【委員】堀 匠、廣畑 敏雄、正木 秀男、南 勝弥、丸本 安高（1月22日まで）

辻 成紀、松田 剛治、溝口 耕太郎、長野 莊一、堅田 府利、水上 久美子



3月24日に開催した定例会4日目において、楠本委員長から委員会提出議案2件について提案説明を行い、採決の結果、発委第1号、発委第4号は原案のとおり可決しました。

○発委第1号「白浜町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について」

採決結果：可決（全会一致）

○発委第4号「白浜町議会議員の定数条例の一部を改正する条例について」

採決結果：可決（起立採決：賛成10、反対2）

### 委員会審査報告（政務活動費）

政務活動費は、町政に関する調査研究に資するため、必要な経費の一部として交付されるものであり、当町議会においても、使途基準を示し、適正な運用に努めているが、政務活動費に関する条例を制定している全国及び県内の町村の実態調査に加え、政務活動費の使途の透明性を高め、町民への説明責任を果たすという観点から、先進事例などを参考に協議を開始した。

委員会では、政務活動費は不要との意見もあったが、積極的な政策提言のための調査研究として、また、議会活動の充実や議員の資質向上のため、一定の政務活動費は必要との意見が多かったことから、なお一層、合理性、客観性、透明性を図り、町民への説明責任を果たすべく厳格な管理を前提に、主に交付方法と交付額について協議を行った。

まず、交付方法については、各議員の利用状況等を踏まえ、意見を聴取しながら検討を重ねた。そのなかで、政務活動費の適正かつ効果的な使用の一層の確保の観点から、後払いが妥当との声が多くを占め、採決の結果、次年度から後払いに変更することとし、その方法は、年度終了後、一括精算による後払いとすることに決定した。

次に、交付額については、現状どおりの意見、また、全国や県内、同規模自治体における交付額等を勘案し、減額が妥当との意見があったが、採決の結果、交付額は現状どおりに決定した。

なお、政務活動費については、町政の課題や町民の意思を把握し、町政に反映させるという趣旨を踏まえ、調査研究に努めつつ、さらなる使途の適正化に向け、引き続き協議を行うこととした。



## 委員会審査報告（議員定数）

議員定数を12人とする。

当町議会において、議員定数については、平成18年の合併以降、過去2回特別委員会を設置し協議を行った。その結果、当初の20人から6人減員の14人となり、現在に至っている。

その間、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、町と議会が互いに独立、対等の立場で緊張感を持ちつつ、協力しながら町政運営に当たることが重要となっている。

また、地方分権が進む中、議会は行政のチェックや政策立案の役割と意義が増大しており、二元代表制のもと、多様な層の幅広い住民の意見を聞き、政策立案につながる機能を発揮するため、専門的知識、知見を高めることが求められおり、そのためには、議員一人ひとりがその責任と役割を積極的に果たさなければならない。

このことから、一定の議員定数を確保し、議会機能の充実、向上を図る必要性を認識した上、また、適正な議員定数について明確な基準がない中で、民意を反映できる定数は何人かという判断基準に立ち、当町の将来人口、財政状況、議会運営上の支障、さらには、同規模自治体との比較等により議論を行った。

議員定数については、減員すれば町政に対する様々な声は届きにくくなるとの意見、人口減より議員減のほうが大きい現状、また、地域住民の代表機能や監視機能など保障する観点から多面的に検討すべきであり、減員に反対との意見。その一方で、今後人口減が予想されること、また、議会は本来の行政のチェック機能として監視機能等に重視すべきであり、減員しても議会としての機能は果たせるとの意見や議員の力量が大事で、個々の議員力を上げればよいことから、減員すべきとの意見に分かれたため、まずは、議員定数を現行定数とするか減員するかについて採決を行い、減員することに決定した。

その後、議会機能に支障のないことを前提に、議会運営の実務に基づいて十分な審議が行えることや円滑な議会運営の観点から、議長の裁決権の行使や委員会構成などの課題を含め、議論を重ねた。

減員数については、議会としてのチェック機能低下の懸念や議員削減によるメリットがないことから、減員するなら最低限の1人減員との意見。その一方で、円滑な議会運営や議長の中立性の観点から、偶数定数が適切として2人減員の意見に分かれたため、それぞれ採決を行い、最終結論に至った。

結果は、冒頭のとおり、各委員の主張を討論として、多数決により議員定数を現行の14人から2人減員の12人とすることに決定した。



**問** デジタル教科書に対する教育委員会の所見は

**答** 文科省の動向等を注視し学校と検討を深める

**問** 文科省はデジタル教科書について中間報告をまとめた。GIGAスクールを含め、教育委員会の所見を問う。

**答** 文科省の検討内容や動向を注視し、学校と協議、検討を深めたい。また、周辺市町とも情報を共有しながら方向性を定めていきたい。

**問** 幼児教育の充実に向けては、子どもが守られ、子育てしやすい環境づくりが大切である。幼児教育にかかる取り組みと保育人材の育成について町の見解は。

**答** 各保育園では、子育てに関する相談を気軽にいただける環境づくりを目指し、常に保育士として



くすもと たかのり 議員  
楠本 隆典



QRコードの有効期限は6月下旬まで

の資質向上に努めている。

## GIGAスクール

Global and Innovation Gateway for All



(写真のキャプション)

### 社会教育の充実について

**問** 社会教育の充実に向け、文化財保護をはじめ芸術文化に対する取り組みと、文化財の公開を含めた町民への周知について、教育委員会の所見を問う。

**答** 令和3年度に開催される紀の国わかやま文化祭2021において、「白浜町を愛した美術家たち」と題して、展示会を開催する予定である。

**問** 高齢者に対し、タクシー利用補助する考えは

**答** 町にとってよい方法を協議・検討していく

**問** 65歳以上の高齢者は、役場への来庁や通院、日用品の確保のための買い物などに苦労している。町内の65歳以上の人数と自家用車を持たない高齢者数を把握しているか。

**答** 令和2年1月1日現在、65歳以上の人数は8051人であり、自家用車を持たない高齢者数については把握はできていない。

**問** 高齢者の交通手段の手助けの一つとして、タクシー利用に係る補助制度を提案するがいかがか。

**答** コミュニティバス、デマンドタクシー、タクシーを利用した補助制度など、地域によってどの



みぞぐち こうたろう 議員  
溝口 耕太郎



QRコードの有効期限は6月下旬まで



(白浜町のコミュニティーバス)

ような方式が一番よいのか、検討していきたい。

**問** 地域により事情が異なるが、支援策を検討すべきである。検討期間も含め、町の考えは。

**答** 総務・民生両部局において、白浜町にとつてどのような形がいいのかを協議・検討して参りたい。方向性については半年程度を目途に出したい。



問 危険な水路やバス停の安全対策を

答 地域等とも協議しながら安全確保に取り組む

問 危険と思われる水路の安全対策について伺う。

答 地域とも協議しながら安全対策の実施に取り組みたい。

問 危険なバス停の安全確保への取り組みについて見解を伺う。

答 国や県、警察、バス事業者と連携しながら安全確保に努めたい。

公共交通について

問 高齢者等、バス停まで行くのが困難な方が増えている。交通弱者の交通手段の確保の考えを伺う。

答 大きな課題であり、地域に合った対応をしていく必要がある。



ながの せいいち  
長野 莊一 議員



QRコードの有効期限は6月下旬まで

松枯れ対策について

問 松枯れの現状認識と、今後の具体的な対策方針を伺う。

答 マツ材線虫病や塩害が原因であり、適切な拡大防止策を講じたい。

脱炭素社会への推進について

問 ゼロカーボンシテイへの宣言の意向について伺う。

答 グリーン成長戦略の内容を把握し、前向きに検討したい。

問 災害などに活躍する次世代自動車の購入の考えを伺う。

答 コスト面等の課題もあり、今後、研究・検討したい。



(深刻化する松枯れ)

問 災害に対する訓練や啓発等、継続的な取り組みを

答 地域防災課を新設し、必要な対策を進める

問 災害発生時、町長の適切かつ迅速な判断が求められる。そのためには、日ごろから、さまざまなケースを想定し、関係機関と連携のもと、訓練などの実践に加え、町民の災害に対する啓発等、継続的な取り組みが大事だと考えるが、町の見解は。

答 早期の災害対応業務や各種防災事業を計画的に推進することを今後の防災対策の方針とするべく、地域防災課を新設し運用していく。

問 防災・減災対策の強化に向け、4月から地域防災課を新設するが、今後の防災対策についての考えは。

答 各種災害からの人命の保護上、



まさき ひでお  
正木 秀男 議員



QRコードの有効期限は6月下旬まで



(日置小・中・保育園合同避難訓練)

必要な対策事業を進める。防災対策に終わりはなく、地域への防災・減災の事業の推進、啓発をしていく。

問 各学校の地勢や状況に応じ、避難方法はさまざまだが、東日本大震災を教訓に、各学校の実情にあった防災対策、防災教育が必要と考えるが、教育委員会の見解は。

答 学校では防災教育指導の手引きを基に、カリキュラムに位置付け取り組んでいる。避難訓練などを行い、あらゆる場面を想定して意識を高めていく。



問 白浜駅のエレベーター設置についての進捗は

答 現時点において事業実施の合意に至っていない

問 白浜駅のエレベーター設置、直近のＪＲとの協議と進捗は。

答 基本計画案の説明や事業費に伴う予算の確保、県内の駅の整備予定状況等を踏まえ、協議を行っているが、現時点において事業実施の合意に至っていない。



(高齢者、障害者、観光客への配慮が早急に求められる白浜駅のエレベーター設置)

問 車椅子や視覚、聴覚障害者の方々への配慮、安全性確保や利便性と観光の町として長年の要望であるが、設置に進まない理由は。ふるさと白浜応援寄付金やクラウドファンディングの活用を提言するがどうか。

答 優先的に整備が進められている1日の平均利用者が3千人以

上の駅の整備が完了していないことが大きな理由。ふるさと納税やクラウドファンディングの活用は、事業実施が合意できれば重要な財源措置として検討したい。

土砂災害（特別）警戒区域

問 土砂災害防止法に準じ住民の生命、財産を守る災害情報や警戒避難体制整備の考えは。

答 白浜町土砂災害ハザードマップの作製に

取り組んでおり、今後は地域防災計画の見直しや、地域住民等への周知及び避難訓練等の実施に向け、取り組む。



みずかみ くみこ 議員  
水上 久美子



QRコードの有効期限は6月下旬まで

問 安全な通学路確保のため、旧空港を横断できないか

答 施設管理者と協議を行い要望していきたい

問 白浜台等の地区では、10年来若い方が家を建てて居住することが多くなっているが、この地区では、交通の安全な通学路が確保されていないため、小学生等が安心して通学ができない状況である。また、白浜消防署の隣に湯崎保育園が移転することになっている。現在、12名の園児が在籍しているが、年次的に小学校に上がる。例えば、旧空港滑走路を横断し、県道の歩道より通学できるようにするなど、安全な通学路の確保についての考えを伺う。

答 以前より、旧空港のトンネル改修等の要望を頂いており、トンネル外では歩道の整備や落石の防止対策、トンネル内では、照明の



(旧白浜空港の滑走路)

増設など、道路管理者にお願いして対応頂いたところであるが、トンネル改修となると多額の費用が想定されることから、現状では、

安全を確認しながら通行して頂きたい。また、提案の旧空港滑走路を横断することについては、施設管理者と可能であるかどうかを含め協議を行い要望していきたい。



ひろはた としお 議員  
廣畑 敏雄

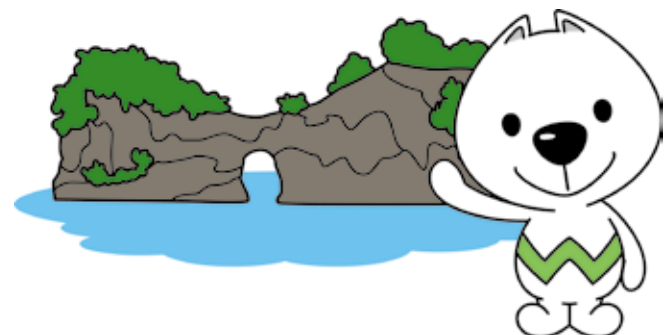


QRコードの有効期限は6月下旬まで

## ▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き（1月～3月）

1月8日	白浜町表彰式
12日	和歌山県議長会正副議長会議 (和歌山市)
13日	議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議
14日	議員定数等検討特別委員会 観光建設農林常任委員会
15日	議会広報特別委員会
20日	タイムカプセル開封式
22日	和歌山県議長会理事会(和歌山市)
2月2日	和歌山県議長会臨時総会 (和歌山市)
9日	全員協議会
10日	紀南里親支援連絡学習会(田辺市)
15日	大辺路衛生施設組合議会 (すさみ町)
16日	和歌山県後期高齢者医療広域 連合議会(和歌山県)
17日	富田治水組合議会(上富田町)
18日	和歌山県議長会議長・副議長 ・事務局長研修会(みなべ町)
19日	紀南環境広域施設組合議会 (田辺市)
22日	議会運営委員会 紀南地方老人福祉施設組合議会 紀南地方児童福祉施設組合議会
24日	田辺周辺広域市町村圏組合議会 (田辺市) 公立紀南病院組合議会(田辺市)

25日	富田川衛生施設組合議会 白浜町都市計画審議会
27日	白浜町スポーツ奨励賞表彰式
3月2日	第1回定例会第1日 全員協議会 予算審査特別委員会 議会運営委員会
5日	公立紀南病院組合議会予算委員会 (田辺市)
11日	第1回定例会第2日 議会運営委員会
12日	第1回定例会第3日 議員定数検討特別委員会
15日	予算審査特別委員会
16日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会 全員協議会 議会運営委員会
19日	幼稚園卒園式
24日	第1回定例会第4日 全員協議会 議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会
26日	公立紀南病院組合議会(田辺市) 保育園卒園式



## 次回日程

次回定例会（6月）の会期は、6月8日（火）から23日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
5/30	5/31 議会運営委員会	6/1	2	3	4	5
6	7	8 開会日 第1日 提案説明等 10:00~	9 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	10	11	12
13	14	15	16	17 第2日 一般質問 10:00~	18 第3日 一般質問 10:00~	19
20	21	22 第4日 議案審議 10:00~	23 閉会日 第5日 議案審議 10:00~	24	25	26

6月議会の日程は5月31日（月）開催予定の議会運営委員会で決定します。  
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

## 編集後記

3月議会の議会日より、皆さんに届いている頃は、春真っ盛りの4月下旬から5月の初旬であるかと思えます。春の始まりの3月は卒業、そして受験の季節ですが、昨年からの新型コロナウイルスの影響で当事者の方や家族、関係者の方々は大変だったと思います。また、3月11日は東日本大震災から丸10年が経過した日でもありました。被災地は復興してきていますが、被災された人々の心の復興は、まだすべての人々に及んでいないということも、新聞やテレビの報道で気づかされた次第です。当紀南地域においても、近い将来に「東海、東南海、南海3連動地震」や「南海トラフ巨大地震」の発生が懸念されております。町議会としても、町民の生命、財産を守るために、町当局と一体となって防災対策に取り組んでまいります。（溝口）

## お知らせ

9月議会より、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方に鑑みまして、限られた時間ではございますが、放送を始めました。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせいたしますので、是非聞いてみてください。

### 議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一  
副委員長 堅田 府利  
委員 廣畑 敏雄  
小森 一典  
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

